

4 指導と支援（考え方せる場）の明確化

Q. 1 指導（指導の場）と支援（考え方せる場）の設定はなぜ必要か？

確かな学力を育成するためには、基礎的・基本的な知識・技能を的確に習得させる「指導の場」と、これらを活用して課題を解決するための「考え方せる場」の設定が大切です。授業では、教えることと考えさせることを明確にし、単元全体を見通した指導計画が大切です。そのためには、どこで、思考力、判断力、表現力等をはぐくむかも重要です。

Q. 2 指導と支援の明確化のポイントは？

- ・子どもの実態把握や学習のねらいの明確化、指導内容の精選、学習指導要領の熟読
- ・学習内容に応じた指導方法・支援の工夫
- ・指導案に指導・支援内容の明記
- ・個に応じた指導や支援の工夫



Q. 3 指導の場と考え方せる場を明確化にするためには？

(1) しっかりした教材研究

この教材を通してどんなことを学ばせて、どんな学習活動を行わせるとか、児童生徒のこれまでの学びや新たな学びを、単元のどこで、どのように活用していくのか、学習内容の概観をつかむことが大切です。



(2) 学ぶ側の立場に立った授業の流れ

授業では、教える教師と学ぶ子どもの活動とが一体となった展開が大切です。指導の場と考え方せる場をどう配慮するかなど、学ぶ子どもの立場で授業の流れを考えることが大切です。

(3) 個々の子どもに対応した指導

児童生徒は、それぞれの能力や考え方、感じ方、学習内容の習得状況、学習速度等も異なっています。しかし、誰もがわかるようになりたい、できるようになりたいという願いを持ち、それを言葉や、表情、行動等様々な形で教師に伝えようとしています。その一人一人の思いに応じて、指導と支援を上手に取り入れていくことが大切です。

Q. 4 指導する場・考え方せる場での取組は？

(1) 「指導する場」

教え込みではなく、学ぶ意義や目的等を示しながら、課題を解決していくために必要な基礎的・基本的な知識・技能を指導します。



→「できる」ようにさせます。

(2) 「考え方せる場」

考え方せる場では、記述、説明、話し合い活動など言語活動の充実が大切です。既習事項や新たに得た知識・技能、考え方を使って、課題を考えさせます。

→「わかる」ようにさせます。

- ユニバーサルデザインの考え方を取り入れたわかりやすい授業づくりのすすめ -----
- 本時のねらいや授業の見通しの明確化
 - 具体的でわかりやすい指示・発問
 - 構造化された板書や視覚に訴える指示
 - 意図的な机間支援
 - 肯定的な評価
 - 互いの違いを認め、やる気の出る学級づくり